

授業科目名	作業療法概論		授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	佐々木 健太		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>これから言語聴覚士を目指す上で、協業する作業療法がどういったことを行うものなのかを、対象、領域、病期、圏域や作業療法の歴史、作業療法の流れなどを学ぶ中で理解する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>各学生が「作業療法」がどういったものなのかを考え理解すると共に作業療法士との協業はどのように行うのかイメージをつける。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	作業療法の紹介 ・ 作業療法の定義					
第 2 回	作業療法における「作業」の意味・範囲					
第 3 回	作業療法の分類					
第 4 回	作業療法の歴史（世界の作業療法） ・ 理論①					
第 5 回	作業療法の歴史（日本の作業療法） ・ 理論②					
第 6 回	作業療法の実践現場（医療・介護・福祉・療育・教育・行政・司法）					
第 7 回	作業の分析と治療への適用（作業分析）					
第 8 回	作業の分析と治療への適用（作業の治療的適用・作業療法の理論）					
第 9 回	作業療法士の養成と教育（作業療法士に求められる資質と倫理・教育・研究・エビデンス）					
第 10 回	作業療法士・言語聴覚士のチームアプローチ（食事動作①）					
第 11 回	作業療法士・言語聴覚士のチームアプローチ（食事動作②）					
第 12 回	作業療法士・言語聴覚士のチームアプローチ（高次脳機能障害①）					
第 13 回	作業療法士・言語聴覚士のチームアプローチ（高次脳機能障害②）					
第 14 回	まとめ					
第 15 回	まとめ					
評価方法	課題・レポート(100%)					
教科書 参考図書	〔参考図書〕 標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論 医学書院					
履修上の 留意点	グループワークやレポート課題が中心になりますので積極的参加すること。					
メッセージ	言語聴覚士にとって協業することが多い作業療法についての考え方の基本となる講義です。教授するばかりでなく、自分たちで考え理解することが望まれます。					